AudioComm®

取扱説明書（保証書付）

アナログ選局 AM/FMラジオ

RAD-F650Z

（商品番号 07-7765）

このたびは、AudioComm
アナログ選局AM/FMラジオを
お買上げいただき、まことにありがとうございます。
正しく安全にご使用いただくため、
ご使用の前に「保証書／取扱説明書」をよくお読みください。
お読みになった後は、いつでも見られる所に
必ず保管してください。

内部に水や異物が入った場合、煙や異臭、異音が出たり、落下して破損した場合はスイッチを切る

強制

・そのまま使用すると、故障の原因となります。すぐに電源を切り、乾電池を取り外し、お買い上げ店または弊社修理ご相談センターにご相談ください。

大音量で聴かない。

禁止

・周囲の音が聴こえる程度の音量でお聴きください。

雷が鳴り出したら、屋外での使用を中止する。

禁止

・落雷により、感電、やけど、機器の故障の原因になります。
使用しているときはすぐに機器から離れてください。
・山小屋や簡易住宅などでは使用を中止してください。

機器内部に金属物や燃えやすいものを入れない。

禁止

・故障・火災の原因になります。

分解・修理・改造しない。

禁止

・故障・感電の原因となります。
修理はお買い上げの販売店、または 弊社修理ご相談センターにご相談ください。

水に浸したり、水の中では使用しない。

禁止

・本機は、防滴仕様ではありません。水中に入れないように、また水がかからないようにご注意ください。
故障の原因となります。

安全上のご注意

電気製品は間違った使い方をすると火災や感電による人身事故につながる可能性があります。このような事故を防ぐために、この取扱説明書をよくお読みになり注意事項を必ずお守りください。注意事項は、取り扱いを誤った場合に予想される事故の大きさによって「警告」と「注意」の二段階で表示しています。

表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

⚠ 警告	この表示の注意事項を守らなかった場合、死亡または重傷を負う可能性がある事を示しています。
⚠ 注意	この表示の注意事項を守らなかった場合、けがをしたり、物的損害を受けたりする可能性があることを示しています。

お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。（下記は絵表示の一例です。）

●記号は、注意（危険、警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。

○記号は、禁止の行為であることを告げるものです。

⚠ 警告

運転、歩行中の使用について

禁止

・自動車、オートバイなどの運転をしながら操作をしたり、ディスプレイを見たりしないでください。交通事故の原因となります。

・車の中でお聴きになるときは、運転の妨げにならない安全な場所にしっかりと固定してください。

強制

・歩きながら使用するときも、事故を防ぐため、周囲の交通や路面状況に充分にご注意ください。

⚠ 注 意

大音量で長時間続けて聴きすぎない。

禁止

・耳を刺激するような大きな音で長時間聴くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

・まわりの人に迷惑にならないように音量に気をつけてください。

乾電池を出し入れするときは、電源を必ず切る。

強制

・突然大きな音が出て、耳をいためることがあります。音量は徐々にあげましょう。

安定した風通しの良い場所に置く

置き場所や置き方が悪いと、落下によるけが、内部温度の上昇による発火やけが、感電や故障の原因となる事があります。

強制

・ぐらつく台や傾いた台、毛足の長い絨毯や布団等の不安定な所に置かない。

・湿気やほこりの多い所、湿気や油煙が当たるところに置かない。

・暖房器具のそばや、直射日光が当たる所、窓を閉めきった自動車の中（特に夏季）等の高温になる場所に置かない。

禁止

・布をかけたり、密閉したラック等の中に入れない。

・振動の強い場所に置かない。

・腐食性ガス（亜硫酸ガス、硫化水素、塩素ガス、アンモニアなど）の発生する場所に置かない。

・極端に高温、低温、温度変化の激しい場所に置かない。

・磁石やスピーカー、テレビのすぐそばなど磁気を帯びたところに置かない。

録音したテープ、キャッシュカード、定期券などを本機のスピーカー部に近付けない

禁止

・大切な磁気情報に影響を及ぼす場合があります。

電池についての安全上のご注意

使い方を誤ると、液漏れ、発熱、発火、破裂などにより、やけどや大けが、失明の原因になります。

⚠ 警告

・乾電池が液もれしたとき
液が本体内部に残ることがあるため、使用を中止し弊社修理ご相談センターにご相談ください。
液が目に入ったときは、失明の原因となるので、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師に相談してください。液が身体についたら水でよく洗い流してください。
・機器の表示に合わせて⊕と⊖を正しく入れる。
・充電しない。
・火の中に入れない。
・ショートさせたり、分解、加熱しない。
・火のそばや直接日光のあたるところ、炎天下の車中など、高温の場所で使用、保管、放置しない。
・水などで濡らさない。
・乾電池は金属製のボールペン、ネックレス、コイン、ヘアピンなどと一緒に携帯、保管しない。乾電池のプラス端子とマイナス端子の間がショートし、乾電池の破裂、液もれにより、火災・けがの原因となります。

⚠ 注意

・使い切った電池や長時間使用しないときは電池を取り外す。入れたままにすると、乾電池の液漏れで故障し、発熱、けが、汚損の原因になります。
・新しい電池と消耗した電池、種類の異なる電池を混ぜて使わない。
・指定以外の乾電池は使用しない。
・乾電池は幼児の手の届かないところに保管する。

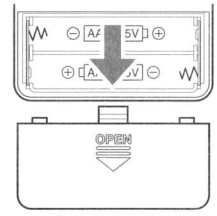
使用済み電池を廃棄するとき

使用済みの電池に関して、自治体で条例などで決まりがある場合には、それに従って廃棄してください。

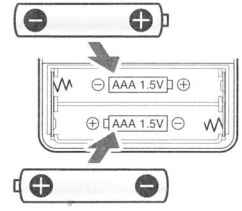
電池の入れ方（電池交換の方法）

※乾電池は別売です。

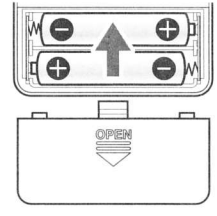
1.本機背面にある電池ぶたをはずしてください。
電池ぶたの ▼ 方向に電池ぶたをずらし、電池ぶたを開きます。



2.単4形乾電池2本を、乾電池の⊕と⊖を確かめながら入れてください。
コイルバネがあるほうが⊖側です。



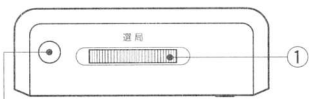
3.乾電池を入れ終わったら、電池ぶたを元のように閉めてください。
電池ぶたの ▼ 反対方向に電池ぶたをずらし、電池ぶたを閉めます。



※音が小さくなったり、音量を上げると歪んだりする場合は、乾電池を新しいものと交換してください。
※30秒以内に電池交換をすると、時計を再設定する必要はありません。（30秒セーブ機能）ただし完全に電池が消耗したときは再設定が必要です。

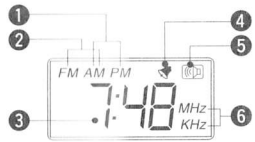
各部の名称

上面

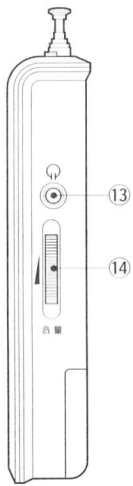


前面

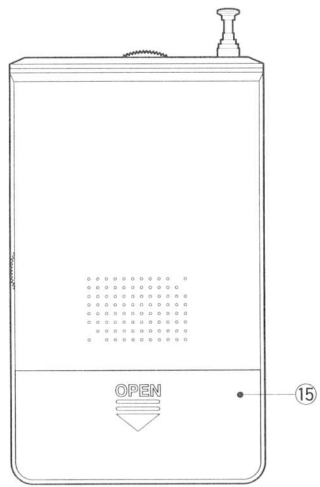
ディスプレイ



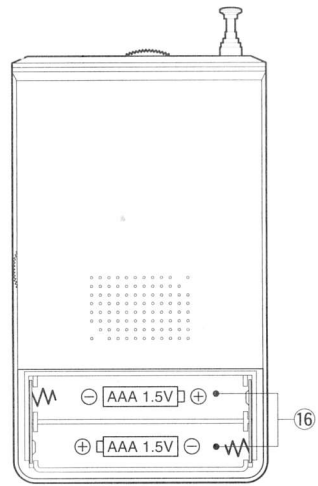
❶ AM／PM（午前／午後）表示
❷ FM／AM（ラジオ）表示
❸ 時刻／周波数表示
❹ タイマー時刻表示
❺ タイマー オン表示
❻ 周波数 単位表示



右側面



背面



背面（電池ぶたを開けたところ）

① 選局ツマミ
② FMロッドアンテナ
③ ディスプレイ
④ 時刻設定ボタン
⑤ タイマーボタン
⑥ AMボタン
⑦ FMボタン
⑧ 電源ボタン
⑨ タイマー設定ボタン
⑩ 「分」設定ボタン
⑪ 「時」設定ボタン
⑫ スピーカー

⑬ イヤホンジャック
⑭ 音量調整ツマミ

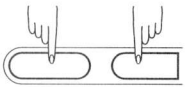
⑮ 電池ぶた

⑯ 電池ボックス
(単4形乾電池 2本ー別売)

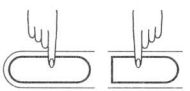
時刻設定をするには

1.ディスプレイの時刻表示は、工場出荷時には「AM 12:00」になっています。

2.まず「時」の設定をします。
時刻設定ボタンを押しながら、「時」設定ボタンを押すと、「時」の数値が増えます。
長押しすると数値が順次増えます。ディスプレイ上部に「AM」と表示されているときは「午前」、「PM」と表示されているときは「午後」を表わしています。

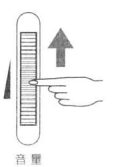


3.次に「分」の設定をします。
時刻設定ボタンを押しながら、「分」設定ボタンを押すと、「分」の数値が増えます。
長押しすると数値が順次増えます。
ボタンから手を離すと時計が動作し始め、時刻の設定が完了します。



ラジオを聞くには

1.本機右側面にある音量調整ツマミを上方向にまわしてください。(電源を入れたときに突然大音量でラジオが鳴るのを防ぐため、音量を小さくしておきます。)



2.本機前面の電源ボタンを押します。
FMの受信状態になります。

3.AMをお聴きになりたい場合はAMボタンを押してください。AMの状態からFMをお聴きになりたい場合はFMボタンを押してください。

4.選局は、周波数がディスプレイに表示されますので、選局ツマミを回しながら聴きたい放送局を選びます。信号がない場合は雑音が出ます。
※ラジオのステレオ放送はすべてモノラル受信となります。
お好みの音量になるように音量調整ツマミで調整してください。

5.電源を切るときは、本機正面の電源ボタンを押してください。

注意

※電車、トンネルや地下鉄の中、地下街などでは、電波状態が悪く聞こえないことがあります。
※近隣への迷惑にならないよう、音量には十分注意しましょう。
※持ち運び時は、目をついたり危険ですので、FMロッドアンテナは縮めた状態でお持ち運びください。
※本機はテレビ音声の受信は出来ません。

●AM放送の受信状態を良くするには

本機にバーアンテナが内蔵されていますので、本機を動かして最も受信状態の良い向きを見つけてください。室内の場合、窓際の方が良く受信できます。

●FM放送の受信状態を良くするには

アンテナをのばして一番よく受信できるように調整してください。

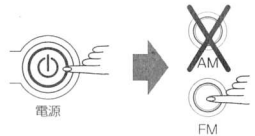
・AM放送の送信所の近くでは、音の歪みや混信の発生する場所があります。

イヤホンの使用

●イヤホンやヘッドホンで聞く場合、本体右側面のイヤホンジャックに、付属のイヤホン(φ3.5mmミニプラグ)またはヘッドホンをつなぎます。お好みの音量に調整してください。イヤホンやヘッドホンをつなぐと、スピーカーからの音は聴こえなくなります。
※音声出力はモノラルです。

FMラジオタイマー設定をするには

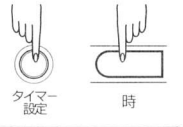
1.FMラジオをお好みの時間に鳴らすことができます。(タイマー設定)
FMボタンを押してあらかじめタイマー設定したいFMラジオ局を選局して、お好みの音量に設定しておきます。



※タイマー動作待機中に音量ツマミと選局ツマミを動かさないでください。(タイマー動作時間に音量が小さくなっていて音が出なかったり、設定したラジオ局の周波数がずれてしまい、雑音が入ったりすることがあります。)
※タイマー設定はFM放送のみ有効です。(AM放送で設定してもFM放送の受信となります。)

2.電源オフの状態で設定します。タイマー設定ボタンを押すと、ボタンを押している間、タイマー設定時刻と マークが表示されます。
タイマー設定時刻は、工場出荷時には「AM 7:00 」になっています。

3.まずタイマー設定時刻の「時」の設定をします。
タイマー設定ボタンを押しながら、「分」設定ボタンを押すと、「分」の数値が増えます。



お手入れの仕方

キャビネットの汚れは柔らかい布で乾ぶきします。汚れがひどいときは、うすい中性洗剤溶液をしめらせた布でふいてください。シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面の仕上げをいためますので使わないでください。
殺虫剤やヘアスプレーなどがかからないようにしてください。変色や変質の原因となることがあります。

主な仕様

受信周波数	AM 530−1605 kHz
	FM 76−90 MHz
電　源	DC3V 単4形乾電池×2本(別売)
電池持続時間	イヤホン使用時：AM 約38時間 FM 約35時間 スピーカー使用時：AM 約33時間 FM 約30時間 (アルカリ乾電池使用、音量中位の場合)
外形寸法	幅58×高さ108×厚21mm
質　量	約78g(乾電池含まず)
付属品	両耳イヤホン、ソフトケース

※仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

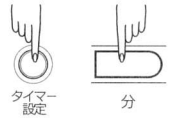
故障かなと思ったら

ご相談になる前にもう一度チェックしてください。それでも調子が悪いときはお買い上げ店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。

音が出ない	乾電池の容量と、正しく入っているかを確認してください。
	電源が切れている。 もしくは音量が最小になっている。
	AM、FMの選択を間違えている。
スピーカーから音が出ない	ヘッドホンジャックにヘッドホン/イヤホンが差し込まれている。

長押しすると数値が順次増えます。ディスプレイ上部に「AM」と表示されているときは「午前」、「PM」と表示されているときは「午後」を表わしています。

4.次にタイマー設定時刻の「分」の設定をします。
タイマー設定ボタンを押しながら、「分」設定ボタンを押すと、「分」の数値が増えます。長押しすると数値が順次増えます。



5.タイマー設定ボタンから指を離すと、マークが消えて現在時刻が表示されます。
タイマーボタンを押すと、マークが表示され、タイマー設定が完了します。
タイマー設定をキャンセルするには、タイマーボタンをもう一度押します。マークが消えます。

※「タイマー設定時刻」を確認するには、タイマー設定ボタンを押します。ボタンを押している間「タイマー設定時刻」が表示されて、ボタンから指を離すと現在時刻の表示に戻ります。

※イヤホンやヘッドホンがつながれていると、スピーカーからは音は出ませんのでご注意ください。

6.タイマーを解除するには、タイマーボタンを押します。タイマーを解除しないと、ラジオは約60分間鳴り続けます。タイマーを解除しないと、電源を押しても電源は切れません。

雑音が入る	近くで携帯電話を使用している。 →携帯電話を本機から離して使用する。
	テレビや蛍光灯の近くでAM放送を受信すると、AM放送に雑音が入ることがあります。またテレビの近くで本機を使用するとテレビの画像が乱れることがあります。このようなときは本機をテレビから離してください。
	よりよく受信できるよう、窓側等に本機を動かしたりアンテナをのばしたりしてください。
	自動車の近くや工場、送電線のそばなどでは、雑音が入る場合があります。
ディスプレイの文字が消えてしまった	乾電池の容量と、正しく入っているかを確認してください。

保証書とアフターサービスについて

- この商品には保証書を添付しております。お買上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、販売店よりお受け取り、大切に保管してください。必要事項の記入漏れは、すぐに販売店にお申し付けください。保証期間はお買上げ日より1年間です。
- 調子が悪いときは修理を依頼される前に、この取扱説明書をよくご覧になり、正しく使われているかお調べください。それでも調子が悪いときは、お買上店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。
- 保証期間中は保証書の記載内容に基づいて修理いたします。
- 保証期間が過ぎた場合は、修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料で修理させていただきます。お買上店にご相談ください。

OHM 株式会社 オーム電機
〒342-8502 埼玉県吉川市旭3-8
http://www.ohm-electric.co.jp

製品に関するお問い合わせは **お客様相談室** へ
●フリーダイヤル（無料） ●携帯電話・公衆電話からは
0120-963-006 048-992-2735
電話受付 平日 9：00～17：30 土曜 9：00～17：00
日曜・祝日及び年末年始は除きます

修理に関するご相談は **修理ご相談センター**へ
電話受付 **048-992-3970** 平日 9：00～17：00
土・日・祝日及び年末年始は除きます

07-7765A

保証書

持込修理 無料修理規定

1. 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で、保証期間内に故障した場合のみ無料修理いたします。
2. 保証期間内でも次の場合には有料修理となります。
   （イ）使用上の誤り、または、自己修理、分解、調整、改造等による故障及び損傷
   （ロ）お買上げ後の輸送、移動、落下等による故障及び損傷
   （ハ）火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、異常電圧、水掛り等による故障及び損傷
   （ニ）消耗または摩耗した部品、付属品の交換
   （ホ）本書のご提示がない場合
   （ヘ）本書にお買上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは文字を書きかえられた場合（但し、販売シールや領収証でも未記入項目の代用となります。）
   （ト）本品本来の用途以外に使用された場合の故障及び損傷
   （チ）一般家庭用以外（例:業務用、または業務用に準ずる使用方法）で使用された場合の故障及び損傷
3. ご贈答、ご転居等で本保証書に記入のお買上げ販売店に修理をご依頼になれない場合は、弊社修理ご相談センターにお問い合わせください。
4. 本書は日本国内においてのみ有効です。This warranty is valid only in Japan.
5. 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

商品名	アナログ選局AM/FMラジオ			★お買上げ日：　年　月　日
型番	RAD-F650Z	品番	07-7765	保証期間：本体1年間（お買上げの日から）

お客様	
	★お名前　様
	★ご住所 〒　－ 電話　（　）
修理メモ	
販売店	★住所 印

（注）★印欄に記入の無い場合は無効となりますので、必ずご確認ください。

見本

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。
※この保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
※保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買上げの販売店または弊社修理ご相談センターにお問い合わせください。
※お客様にご記入いただいた保証書の内容は、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がありますので、ご了承ください。

OHM 株式会社 オーム電機
〒342-8502 埼玉県吉川市旭3-8
http://www.ohm-electric.co.jp

製品に関するお問い合わせは　お客様相談室 へ
●フリーダイヤル（無料）　●携帯電話・公衆電話からは
0120-963-006　048-992-2735
電話受付　平日 9：00～17：30　土曜 9：00～17：00
日曜・祝日及び年末年始は除きます

修理に関するご相談は　修理ご相談センターへ
電話受付　048-992-3970 平日 9：00～17：00
土・日・祝日及び年末年始は除きます

07-7765A